

2022～2023年度 小倉中央ロータリークラブ週報

第1294回 本日の例会 3月27日(月)

本日の卓話 「活動報告」
東筑紫学園高校インターアクトクラブ



例会日 月曜日 12:30～13:30
例会場 リーガロイヤルホテル小倉
事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
TEL 093-531-4015
FAX 093-531-1022

会長の時間 (3月13日 1293回 例会記録) 林田会長

出席報告 3月13日

創立記念日にあたって

明日3月14日は小倉中央ロータリークラブの創立記念日です。
前回、3月6日の百年の会で吉田会員が詳しくわかりやすく説明して下さいました。

42名でスタートしたこと、特別代表の創立者上野正康先生が生みの親であり育ての親であること、1992年3月に2700地区で初、九州で初の女性会員が所属するクラブとして小倉中央ロータリークラブが誕生したこと。

また、職業奉仕こそが創立時の思いの表れであり、ロータリーの根幹であること。世のため人のため、自分の職業を全うすること。売り手も買い手も満足し、社会貢献できるのが、職業奉仕です。

職業奉仕という幹に、国際、社会、青少年奉仕という枝葉がある。

ロータリーの樹に水と栄養を送る。根の部分はクラブ奉仕です。

自らの職業で社会に奉仕、貢献することこそが職業奉仕であり、職業奉仕こそがロータリーの根幹であるということを聞きました。

私がいろいろ言うよりも、ここにいらっしゃいますチャーターの方々お一人お一人がご苦労されたことと思います。創立のご苦労があったと思います。

現在は、池浦会員、大久保会員、羽地会員、安木会員、湯口会員、樋上会員、安部会員、吉田会員がおられます。

本日は、代表して、安部会員と羽地会員に当時のことを思い出されて一言づつお聞かせいただきたいと思います。お願い致します。



在籍会員数	42名
義務出席者	39名
ゲスト	2名
ビジター	0名
本日出席数	30名
本日出席率	79.48%
前々回修正出席率	92.68%

次週の例会は、4月3日(月)

観桜会

於：観山荘別館

3月のお誕生日

15日 安部 高子会員
20日 光應 知廣会員
30日 安木 功会員

今月の主な予定

5日(日) 米山奨学生修了式
6日(月) 定例理事会
11.12日 会長エレクト研修セミナー
22日(水) 二水会
27日(月) 次年度理事会

幹事報告

古川幹事

・次週3月20日(月)は、休会です。次回例会は、3月27日(月)です。

ニコニコ献金報告

累計 502,600円

林田・野口会員—①本日は31周年記念例会です。上野先生を偲び、この31年を振り返ってみましょう。

②アスマアさん、本日最後の例会で、卓話よろしく願います。

③友田様 本日はお越しいただきありがとうございます。

湯口会員—創立記念例会なのでニコニコしました。

巫部会員—アスマアさん、3月5日修了式、無事に終え、お疲れ様でした。今日がここでも最後ですが卓話よろしく願います。

梶原会員—土日に会長エレクト研修に行って参りました。大変勉強になりました。細川会員、狩野会員、お世話になりました。本日は、母の体調不良で病院に付き添いますので欠席します。

古川会員—本日は、創立31周年の記念例会に欠席してすみません。アスマアさん、お元気で!!

合計 14,000円

卓話の時間

米山奨学生

アブシャウイッシュ・アスマア・ピアさん

私は、アスマア アブシャウイッシュです。出身は、パレスチナ（ガザ生まれ）です。

パレスチナにいる家族は、9人（父、母、兄、姉、私、妹、弟3人）で、日本で夫、娘2人と暮らしています。

留学を選んだ理由としては、留学は人生を変える経験です。異文化や新しい言語に触れるだけではなく、将来の成功のための学問の機会も与えてくれます。

個人的な成長につながり、責任感を高める経験です。

様々な国から来た、自分とは異なる価値観を持つ友人との出会いもその一つです。

日本の大学で学ぶことは非常に有益です。研究に必要なすべての設備をサポートしていただいています。

私たちは北九州国際交流協会や大学の文化交流やその他のボランティア活動に家族で多く参加しました。残念な事に、Covid-19の感染が始まると若松での日本語教室は閉講になりました。悲しかったですが、その後北九州国大交流協会の日本語クラスにZOOMで参加するようになり、現在も続けています

私は、大学で若年小児の上気道細菌叢の変化に対する環境因子の影響について研究をしています。

学位取得後は日本でポスドク研究員として引き続き、知識や経験を深めたいと考えています。その後は母国パレスチナに帰国し、大学で研究者として働きたいと考えています。その際には、日本で得た全ての知識や経験をパレスチナではまだ十分でない研究力の向上に役立てることができると今から期待しています。また、私の研究とその成果が、3歳未満の子供たちの生活の質を改善するための重要な役割を担うと確信しています。

私は米山奨学生の一人に慣れたことをとても感謝しています。経済的支援以外にも、私はロータリークラブで別の友達と知り合い、昼食を共にしたり、話したりする機会がありました。そのおかげで、日本語が上達し、彼らから多くのことを学ぶことができました。また、カウンセラーの巫部さんから「囲碁」を学べたことも幸運でした。彼は囲碁のプロであり、良き先生であり、ゲームはとても興味深いものでした。一年間、本当にお世話になりました。感謝です。-



アスマアさん、お元気で・・・

